

愛媛大学大学院農学研究科 研究シーズ集（研究者情報）

氏名	日鷹 一雅	専攻	生物環境学
		コース	環境保全学
職名	准教授	専門分野	農生態学
メールアドレス	sunhwkaz@agr.ehime-u.ac.jp	その他連絡先	090-3780-5876
研究課題	農生態系 (agroecosystem) の秩序を乱す化学物質汚や外来種による攪乱作用の解明と修復		
キーワード	アグロエコロジー・アグロエコシステム・農薬汚染・侵略的外来種・生態系攪乱・生態リスク管理		

研究内容：

今や田畑を中心とした里山に私たちはふるさとの郷愁や自然に心をよせるが、現実には身近な環境問題が満ち溢れている。ここでは、農薬類などの化学汚染と侵略的な外来生物について、その本来あるべき在来生態系への攪乱作用について生態リスク評価の視点から学究するとともに、その解決策となる管理手法について実際のロードマップを示す総合的な研究を進める。

すでに、本研究シーズは、科研費や環境省研究推進費などの外部資金を運用しながら、国内外の研究者と協働して進めている。また研究のアウトリーチとして、日本生態学会の生態系管理委員会の里地部門の全国委員として、また有機農業学会の理事として、農薬問題や外来種問題に関わっている。個別の地域に対するアウトリーチとしては、全国で水田の生物多様性（とくにトンボ類など水生昆虫類）への農薬類のリスク評価について研究を進め、外来種については地元愛媛県でスクミリンゴガイについて、その生態リスクについて成果を発表してきた（日鷹・嶺田・徳岡 2007）。

研究手法については下図に示したように、野外の現地調査と実験系（半野外のメソコズム）を組み合わせる。



提供可能な資源・技術・その他

・調査手法、解析ならびに個々の現場に応じた適応的管理手法のデザインとその修正などを通じて技術などを提供する。

プロジェクト研究希望テーマ

里地里山の生態リスク研究

